

2025年12月(予定)より、本格的な燃料デブリ取り出しに向けた「3号機原子炉格納容器の内部調査」を実施します。

- ▶本格的な燃料デブリ取り出しに向けて、3号機の原子炉格納容器内部の更なる情報収集のため、高い機動性と撮影能力を備えた超小型の「マイクロドローン」による調査を2025年12月(予定)より実施します。
- ▶この調査は、原子炉格納容器内へと通じる極めて狭い作業用の貫通孔(内径約14cm、長さ約2.4m)からマイクロドローンを台に乗せて投入し、原子炉建屋から離れた事務所でモニターを見ながら遠隔で操作します。
- ▶調査するエリアは、狭くて暗いため、事前に現場を模擬した環境での訓練を何度も行っています。
- ▶引き続き、安全かつ計画的に作業を進めていきます。

調査エリア(計画)

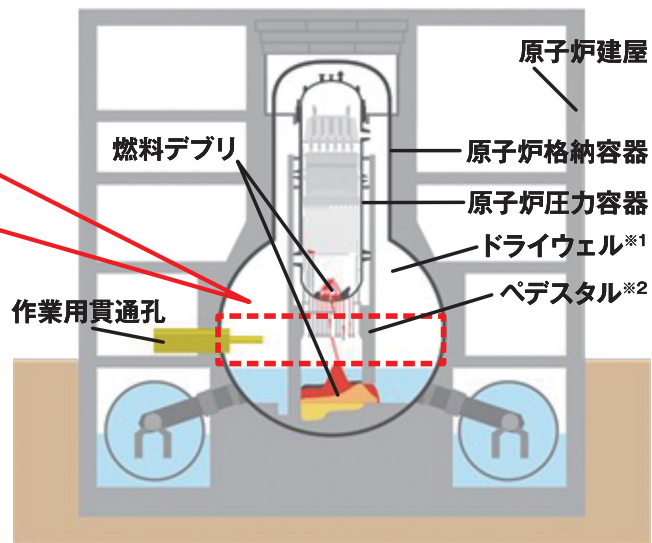
- 調査はマイクロドローンが飛行できる範囲のドライウェル1階、ペDESTAL内の映像取得を計画

※ドライウェル※1内直径約20m
ペDESTAL※2内部直径約5m

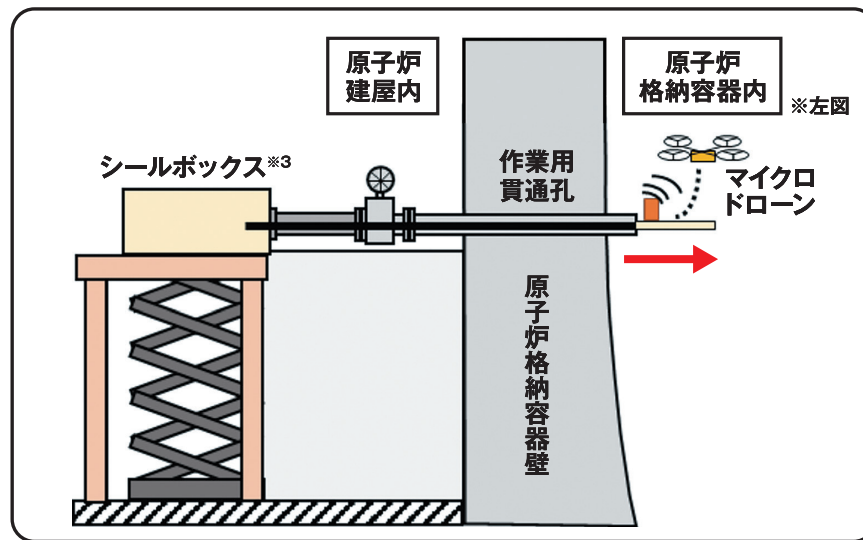
※1:原子炉圧力容器を包み込むプラスコ型の部分

※2:原子炉圧力容器を下部から支える鉄筋コンクリート製の円筒状の構造物

※3:放射性物質の漏えいを防止する装置



3号機原子炉建屋 縦断面図



マイクロドローン投入イメージ



マイクロドローン

マイクロドローン操作
訓練の様子はこちら▶



3号機原子炉格納容器内部調査についてはこちらをご覧ください
▶[3号機PCV内部気中部調査(マイクロドローン調査)について]
https://www.tepco.co.jp/decommission/information/committee/roadmap_progress/pdf/2025/d251030_19-j.pdf



燃料デブリの取り出しについてはこちらをご覧ください
▶[燃料デブリポータルサイト]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/fuel-debris/index-j.html>



福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策
▶[皆さまのご意見をお聞かせください]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22